



カブトガニはどうやって飼うの^か

飼うのはむずかしい^か

カブトガニの研究ははじまったばかりで、生活ぶりは分かっていないことが多くあります。また、すみ場所がうめたてられたり、海のごれで、数がへってきています。自然では、砂の中の有機物を食べています。また貝を好んで食べます。

保護を目的とした研究以外に、むやみに飼うものではありません。飼うときは、海水を循環する過する装置をつけて、海水をいつもきれいな状態にします。水温は23度C～25度Cに保ちます。

カブトガニの暮らし

産卵は大潮の満潮のとき砂浜をほって、200～300個の卵を産みます。初夏から夏にかけてふ化した幼生は、産卵された砂の中で休眠して、翌年の5～6月ごろはい出してきました。水温が20度C近くになる6月半ばから9月半ばまでが活動期間で、脱皮しながら大きくなり、6年ほどで大人になります。大人は秋、沖4キロメートルの、水深8～12メートルほどのところまで移動しています。（監修・杉浦 宏）

